

飼育下におけるカタクチイワシの高温側水温耐性と 水温別低酸素耐性に関する研究

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2024-08-06 キーワード (Ja): カタクチイワシ; かつお一本釣り漁業; 高水温耐性; 低酸素耐性 キーワード (En): 作成者: 小田, 憲太郎, 橋本, 博, 増田, 賢嗣, 今泉, 均, 薄, 浩則, 照屋, 和久 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2010599

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



飼育下におけるカタクチイワシの高温側水温耐性と 水温別低酸素耐性に関する研究

小田憲太朗・橋本 博・増田賢嗣・今泉 均・薄 浩則・
照屋和久

カタクチイワシは、かつお一本釣り漁業で使う活餌として重要である。本種の船上飼育時には水温を低く維持しなければならず、大きな燃油経費がかかるため、経費削減の方法が求められている。そのため、船上で安全に本種を飼育できる飼育条件の解明が必要である。そこで、著者らは本種の高温側水温耐性と低酸素耐性について検討した。その結果、24、48時間後の高温側半数個体致死温度は、28.5、27.3°Cであった。また、本種が狂奔し始める溶存酸素濃度は、15～30°Cの範囲で1.12～2.36 mg/L（酸素飽和度13.9～35.1%）であった。以上により、漁業現場では現行の15°Cから5～10°C上げて本種を安全に飼育することが可能であり、経費削減につながる期待が高まった。

水産技術, 10 (1), 1-7, 2018